



ベルギーBrushOne社製植毛機を導入

# 「両テーパー加工毛」と「SBマーク」。技術と品質へのこだわりがオーラルケアを進化させる

## 株式会社稲田歯ブラシ

全国  
21関西  
21

ISO 9001

### Company Profile

#### 株式会社稲田歯ブラシ

住 所 / 〒577-0028

東大阪市新家西町17-19

創 業 / 昭和11年1月

設 立 / 昭和26年6月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 20名

T E L / 06-6781-0074

F A X / 06-6781-0064

#### ■主な事業内容

歯ブラシ、ヘアブラシ、櫛、ノベルティグッズ、等の製造・販売

#### ■主な取引先

製薬会社、ドラッグストア、ホームセンター、化粧品会社、歯科メーカー等



### 当社のセールスポイント

今後、厳しくなっていく消費者の選択基準に応えられる品質を目指します。



代表取締役社長  
稲田 眞一さん

平成21年、全日本ブラシ工業協同組合が定めた「SBマーク」の品質基準が、国際規格(ISO)に採用されました。大阪発の取り組みが、世界レベルで認められることになったのです。消費者が良質な歯ブラシを選ぶ際の新しい基準が、これから少しずつ変わっていくでしょう。「オーラルケアのトップメーカー」として、時代の要請に応える高品質な歯ブラシに、こだわり続ける企業でありたいと思います。



自社ブランド「デントスター」はドラッグストア等で好調

### 歯ブラシの先端加工におけるバイオニア企業

歯ブラシの製造メーカーは関西に集中している：そんな話をご存じだろうか。「しかも全国の約6割が東大阪市と八尾市。歯ブラシはまさに大阪の地場産業なんです」と稲田社長。稲田歯ブラシは、同業者がひしめく地元において創業74年の老舗であり、同時に業界のリーダーとして活躍するメーカーでもある。

現在、OEMと自社ブランドを合わせて約200種類、月産100万本を超える製造量を誇る同社。ドラッグストアやホームセンター、歯科医向け等、取引先は多彩だ。その強みは、独自の「両テーパー加工」だろう。テーパーとは、毛の先端を極細に加工すること。そもそも歯ブラシの植毛は、1本のフィラメントを2つ折りして中心をヘッド部分に埋め込むのだが、フィラメントの両端をテーパー加工する技術は同社が開発したものだ。細くなった毛先は歯茎の歯周ポケットに届くためオー

ラルケアの画期的進化につながった。特許を取得しなかったため、今では大手を始め幾つかの企業が「両テーパー加工」を採用しているが「特許なんか取って、技術を独占するのは良くない。業界は皆で元気になるならあかんです」と社長は笑う。

### SBマークという品質保証が歯ブラシの新しい基準になる

突出した技術だけではなく「安定したクオリティ」も同社の魅力だ。その高品質を保証するのが「SBマーク」。全日本ブラシ工業協同組合が自主規定した品質推奨マークで、耐久性、安全性において日本工業規格(JIS)を上回る厳格な基準を設定している。例えば引張り強度の合格基準はJIS規格の2倍である。他社では良品と判断されたものが、当社では不良品ということもままあります。」と社長。



セーフティ・ブラシを意味する「SBマーク」



さらに同社は平成20年に、ISO9001を取得。歯ブラシ製造メーカーでは大手企業を除き、あまり例のない取り組みに改めて挑戦した。結果、従業員の意識レベルの向上につながった。「歯ブラシは厚生労働省ではなく経済産業省の管轄で日用品雑貨扱いです。けれど口に入れるものですから、衛生面においても自らハードルを上げていくことが企業の使命です」。そんな妥協のない姿勢を反映し、同社の製品にはOEM、自社ブランドに関わらず自社名、連絡先が明記されている。「製品に責任を持つ、という意味で自社名を入れることができないお話しはお断りしています」。しかし実際に同社に寄せられる製品へのクレームは年々減少している。